

笹川記念保健協力財団は

すべての人が自分らしく、より良く生きる世界をめざして
ハンセン病事業とホスピス緩和ケア事業を中心として、さまざまな保健医療、福祉の問題に取り組んでいます。

1974年の財団設立とともに開始されたハンセン病事業では、各国政府、WHO、NGO、回復者団体などと協力をし、診断／治療、障がい予防／治療、医療従事者の人材育成、回復者の社会経済自立支援、回復者団体の育成、歴史保存など啓発活動と、医療と社会の両面から、ハンセン病とそれに伴う問題のない社会を実現するための活動をしています。

ホスピス緩和ケア事業は1998年に始まりました。以来、あらゆる病気に向き合うすべての人のクオリティ・オブ・ライフの向上を目指し、啓発、研究助成、ホスピス緩和ケア医師・看護師の育成など、総合的な支援を行っています。

この2事業以外にも、日中笹川医学奨学金や、チェルノブイリ医療協力、その他の公衆衛生向上のための事業を行っています。

<http://www.smhf.or.jp/>



写真・矢部志保

「十年後の気仙沼へ
震災があった事でマイナスよりも
プラスを増やすことが
できましたか？」

小原木中のホンネ

特集 中学生×ボランティア座談会の記録